

CommandCenter Secure Gateway

CC-SG 仮想アプライアンスのクイック セットアップ ガイド - VMware、XEN、HyperV

このクイック セットアップ ガイドでは、CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) のインストール方法と設定方法について説明します。

CommandCenter Secure Gateway の詳細については、CommandCenter Secure Gateway のヘルプを参照してください。このヘルプには、ラリタンの Web サイトの **Product Support (製品サポート)** セクション (<http://www.raritan.com/support>) からアクセスできます。

ここでは、VMware、XEN、HyperV の仮想マシンに CC-SG 仮想アプライアンスを新たに導入する場合について説明します。

インストールファイルをダウンロードする

raritan.com にログインして、インストールファイルにアクセスします。詳細については、「ライセンスを取得する」を参照してください。

<http://www.raritan.com/support/CommandCenter-Secure-Gateway>

インストールファイルは、.ZIP ファイルに収められています。使用する仮想環境用の .ZIP ファイルをダウンロードしてください。

- VMware
- XEN
- HyperV

VMware に CC-SG を導入する

要件

1. CommandCenter Secure Gateway 仮想アプライアンスを導入する ESXi 5.0/5.1/5.5
 - 空き領域 40GB 以上
 - 利用可能なメモリ 2GB
 - サーバに 2 枚の物理 NIC (ESXi ネットワーキングでは、これを「vmnic」と呼びます)。
 - 共有ストレージにアクセスできる高可用クラスタをお勧めします。フォールトトレランスも使用可能なこと。CC-SG 管理者ヘルプの「Using VMware High Availability or Fault Tolerance with a CC-SG Virtual Appliance (CC-SG 仮想アプライアンスによる VMware High Availability または Fault Tolerance の活用)」を参照してください。
2. vSphere Client 5.0/5.1/5.5 を実行するクライアントコンピュータ
3. 仮想アプライアンスの .OVF ファイルは、<http://www.raritan.com/support/commandcenter-secure-gateway> から入手できます。詳細は、「インストールファイルをダウンロードする」を参照してください。
 - **CommandCenter Secure Gateway 仮想アプライアのリンク**: このリンクを表示するには、「Raritan Software License Key Management (ラリタンソフトウェアライセンスキー管理)」サイトにログインする必要があります。「ライセンスを取得する」を参照してください。

VMware ESXi 5.5 への CommandCenter Secure Gateway のインストール

1. vSphere 5.5 を使用して、クライアントコンピュータから ESXi 5.5 に接続します。
2. 仮想マシンの作成、開始、停止許可を持つユーザとしてログインします。
3. [File (ファイル)] > [Deploy OVF Template (OVF テンプレートの導入)] を選択します。
4. [Deploy From File (ファイルから導入)] を選択し、[Browse (参照)] をクリックしてファイルを解凍したディレクトリに移動します。.OVF ファイルを選択します。[Next (次へ)] をクリックします。

5. 作成される仮想マシンの詳細が表示されます。仮想マシンのデフォルト名は変更可能です。[Next(次へ)]をクリックします。
6. インベントリの場所を選択します。[Next(次へ)]をクリックします。
7. CommandCenter Secure Gateway の導入先にするホストを選択します。**フェイルオーバー保護のため、高可用クラスタを構成するホストを選択することをお勧めします。** [Next(次へ)]をクリックします。
8. クラスタを選択した場合は、特定のホストを選択します。[Next(次へ)]をクリックします。
9. すべてのファイルを保存するデータストアを選択します。データストアに 40GB の空き領域があることを確認します。[Next(次へ)]をクリックします。

注: データベースの可用性は、適切かつ信頼性の高い操作には欠かすことができません。データストアは、冗長ネットワークアクセスおよびルーチンバックアップにより、非常に高い可用性を提供します。

10. CC-SG が導入されるネットワークを選択します。[Next(次へ)]をクリックします。
11. サマリーを表示し、[Finish(終了)]をクリックします。仮想マシンが作成される間、数分待ちます。
12. 仮想マシンの電源をオンにして、コンソールを起動します。次に、**「Log in to Diagnostic Console to Set CC-SG IP Address (診断コンソールにログインし CC-SG IP アドレスを設定する)」**に移動します (ページ12)

XEN 仮想サーバに CC-SG を導入する

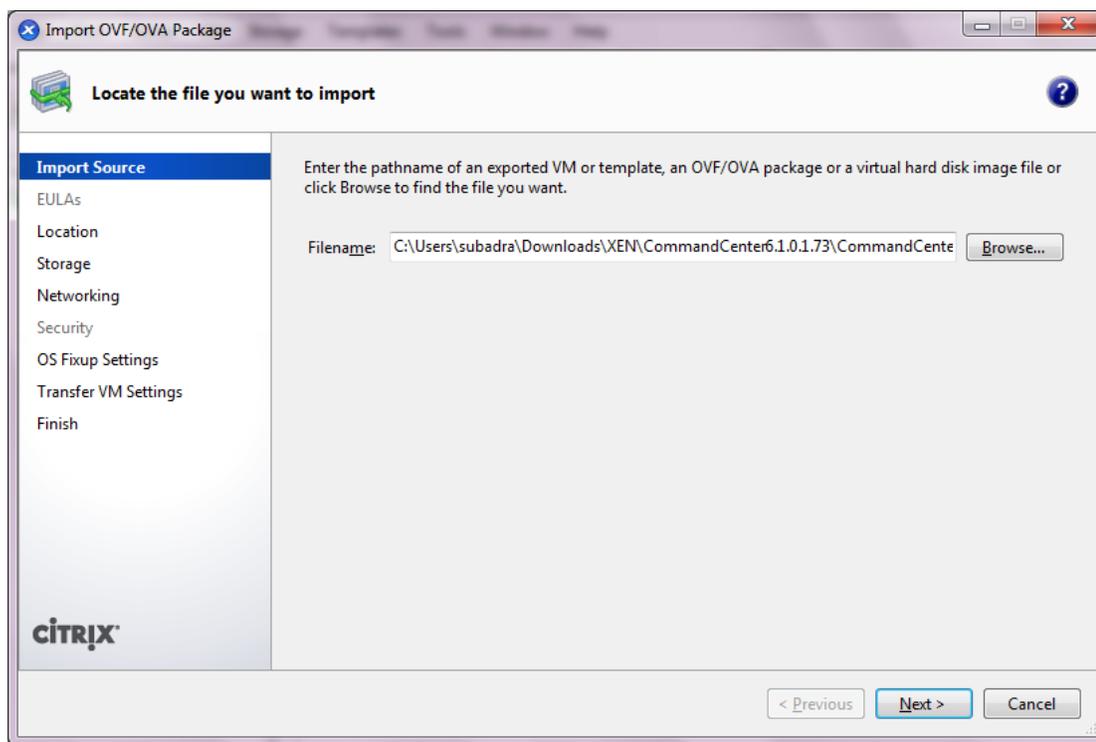
要件

1. XEN サーバが、ハードウェア仮想化をサポートするマシン上で稼働し、BIOS で有効化されていること。
2. XenCenter Windows Management Console は、XEN サーバにアクセス可能なクライアントマシン上で稼働していること。

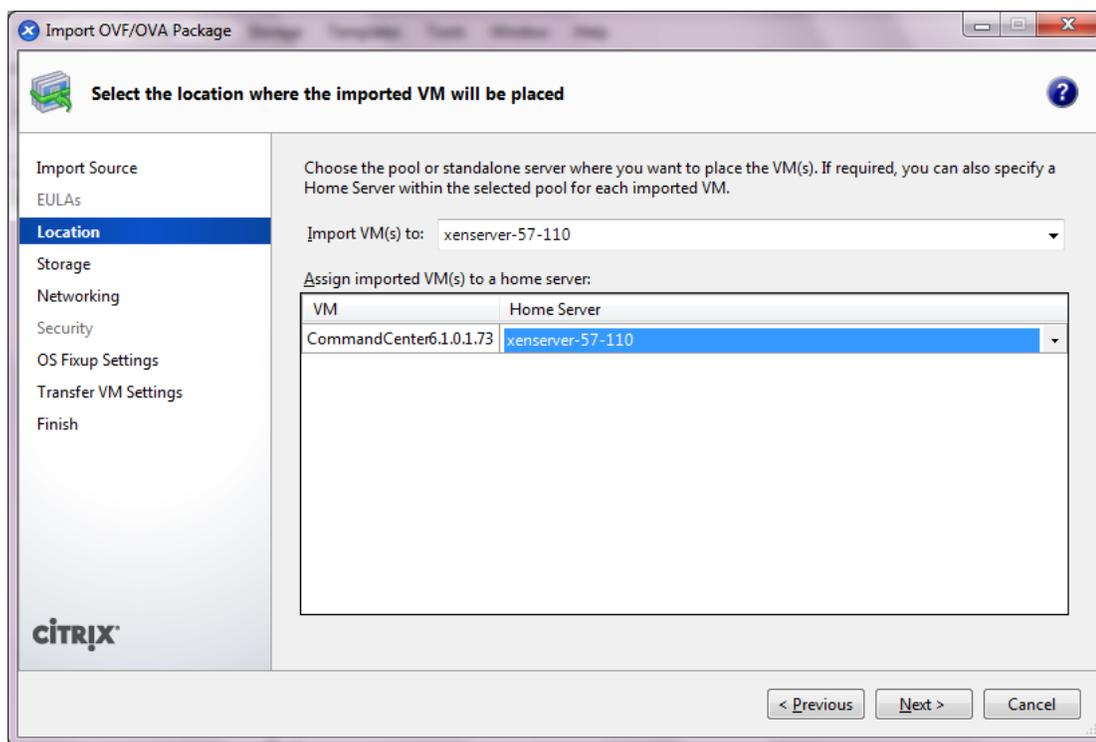
XEN サーバへの CC-SG のインストール

1. OVF ファイルと VHD ファイルを、CC-SG リリースパッケージから XenCenter Windows Management Console がインストールされているクライアントマシンに展開します。
2. XenCenter Windows Management Console を起動します。
3. 必要に応じて、インストールした XEN サーバを XenCenter に追加してください。
4. XEN サーバを追加したら、XEN サーバを右クリックして、[Import...(インポート...)]を選択します。

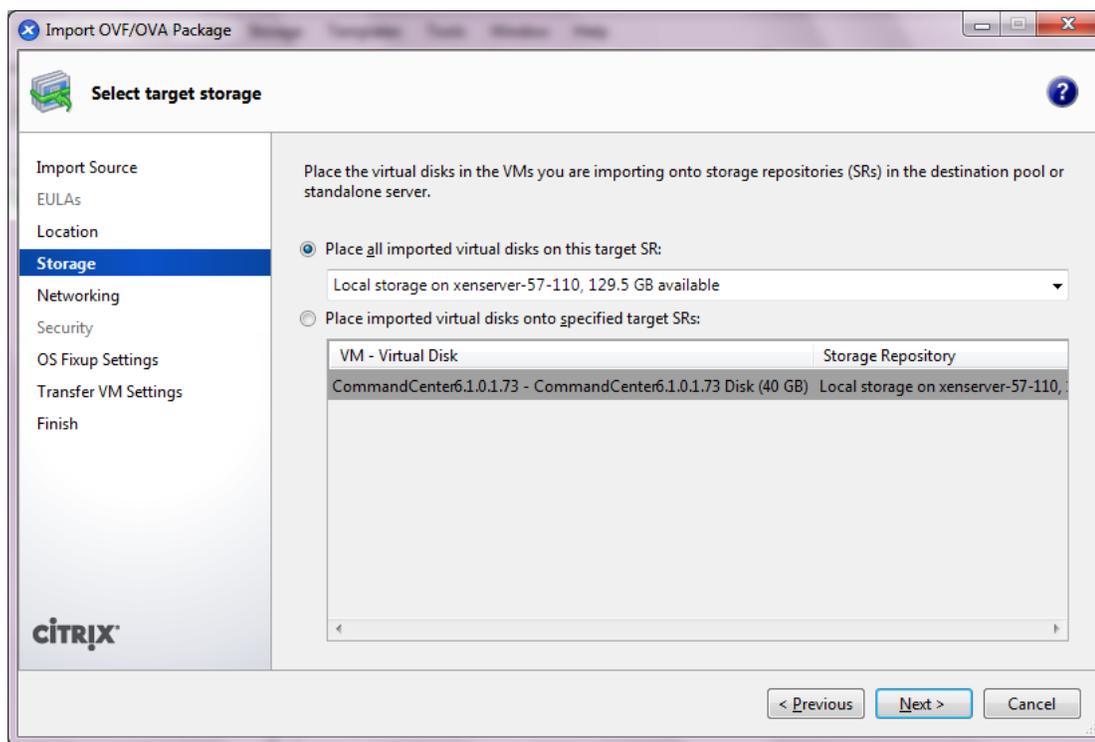
5. [Browse(参照)]をクリックして OVF ファイルを選択し、[Next(次へ)]をクリックします。



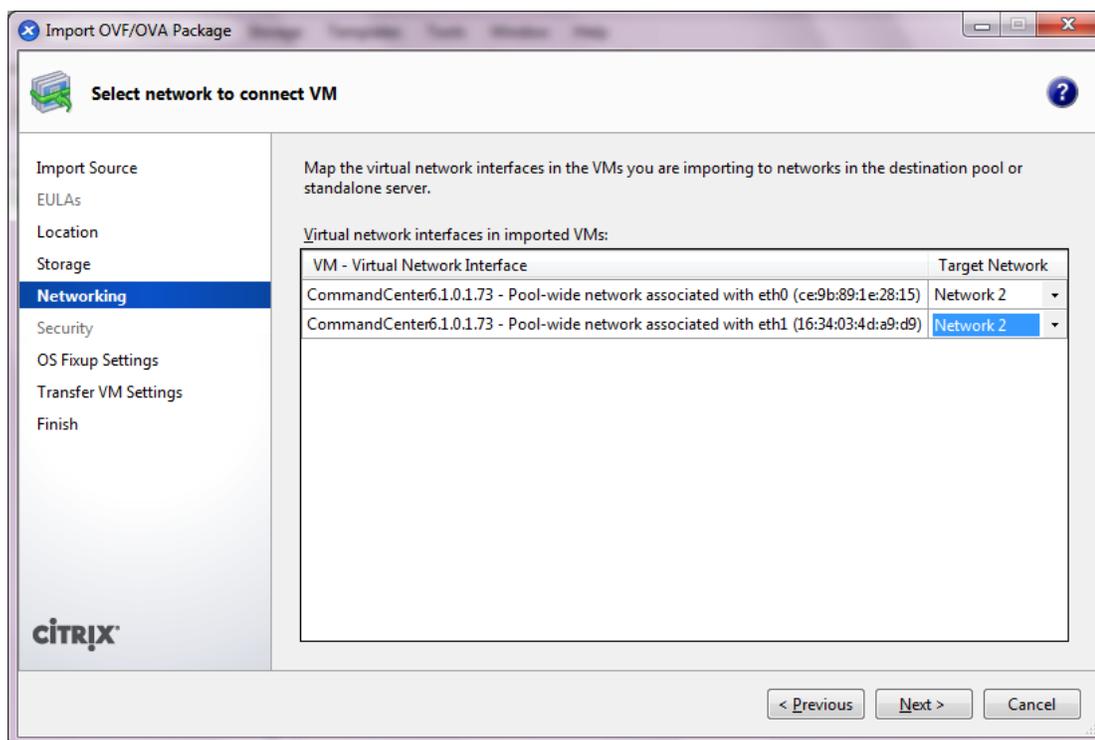
6. インポートした仮想マシンの場所として、その XEN サーバを選択します。



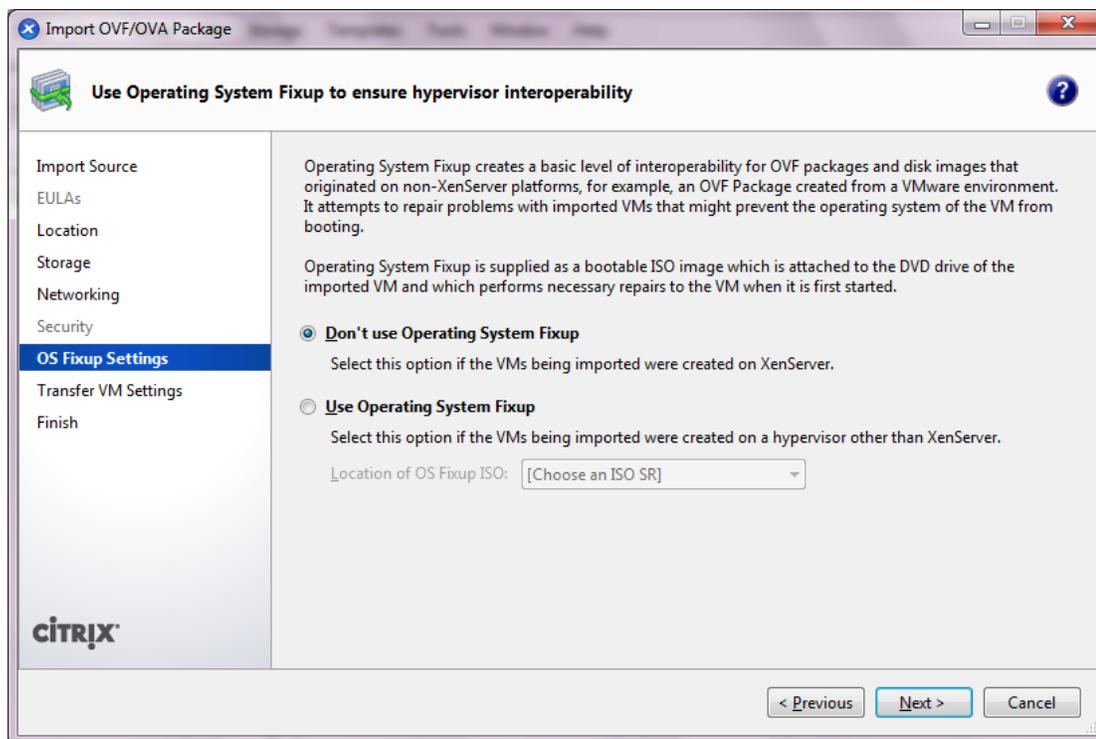
7. 仮想ディスクを指定します。ローカルのストレージを例に表示しています。



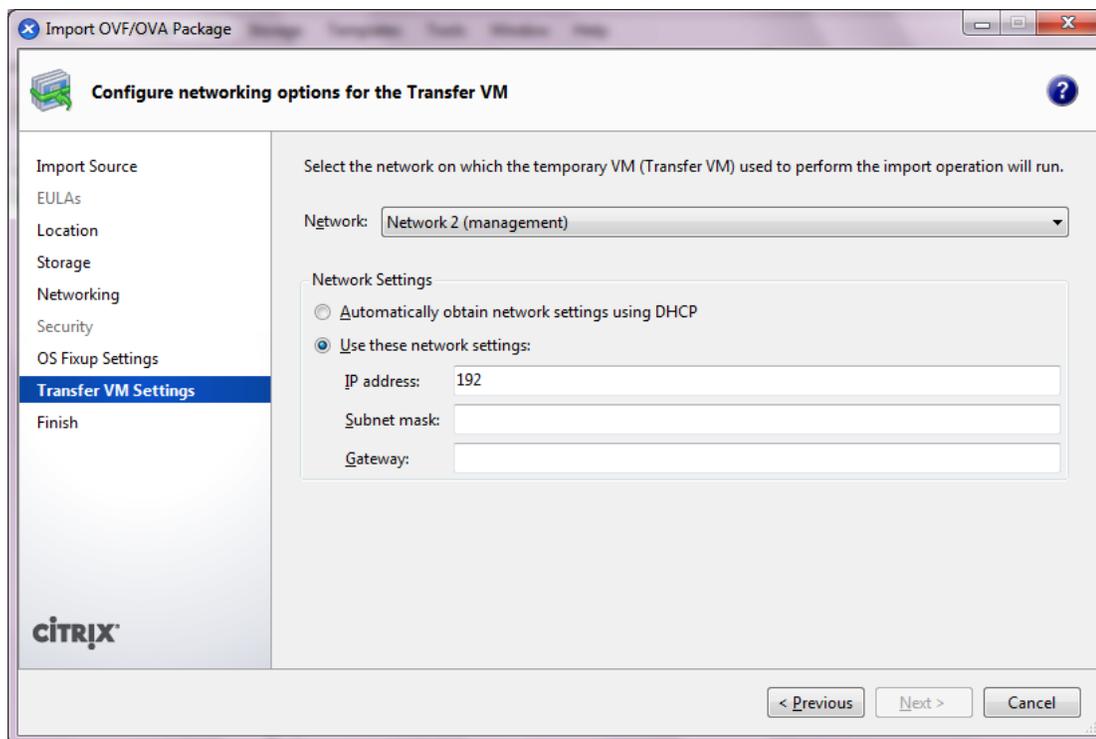
8. 両方の CC-SG インタフェースの[Network Connection(ネットワーク接続)]を選択します。



9. デフォルトのオプション[Don't use Operating System Fixup (Operating System Fixup を使用しない)]を使用します。CC-SG VM が XEN サーバに作成されました。



10. ネットワークオプションを設定します。[DHCP]または[Static(静的)]で設定可能です。この設定は、CC-SG のネットワークパラメータには影響しません。CC-SG VM の稼働開始後は、CC-SG 管理者コンソールから CC-SG ネットワークを設定できます。



Import OVF/OVA Package

Configure networking options for the Transfer VM

Select the network on which the temporary VM (Transfer VM) used to perform the import operation will run.

Network: Network 2 (management)

Network Settings

Automatically obtain network settings using DHCP

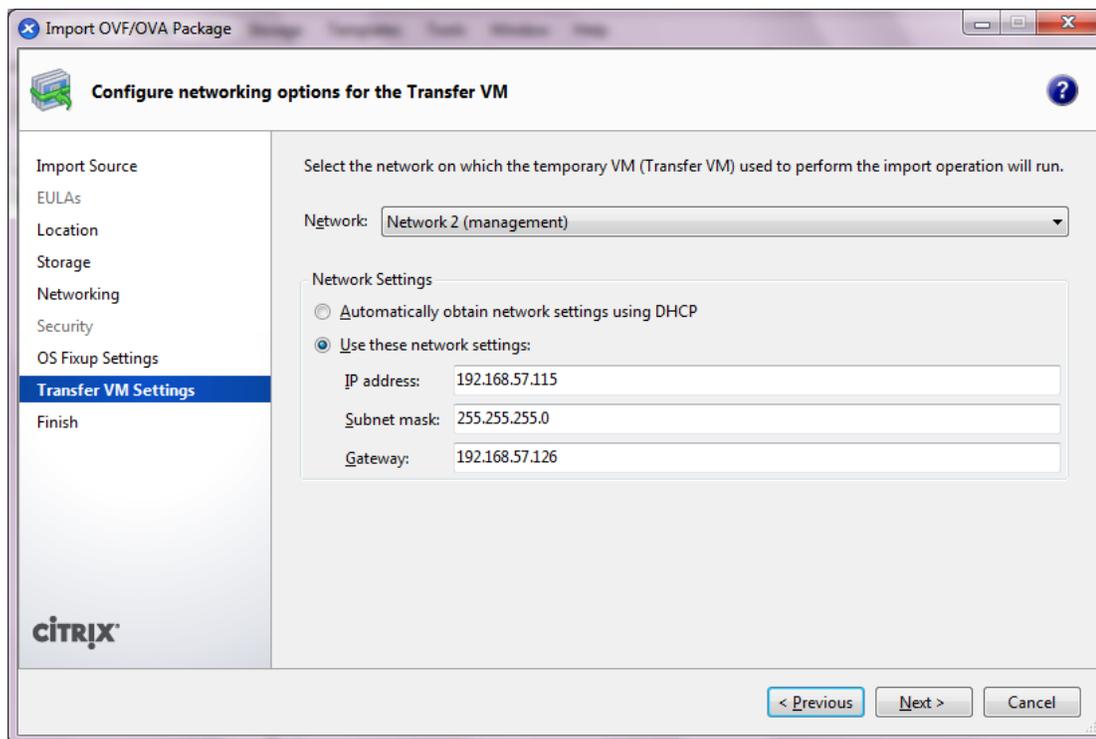
Use these network settings:

IP address: 192

Subnet mask:

Gateway:

< Previous Next > Cancel



Import OVF/OVA Package

Configure networking options for the Transfer VM

Select the network on which the temporary VM (Transfer VM) used to perform the import operation will run.

Network: Network 2 (management)

Network Settings

Automatically obtain network settings using DHCP

Use these network settings:

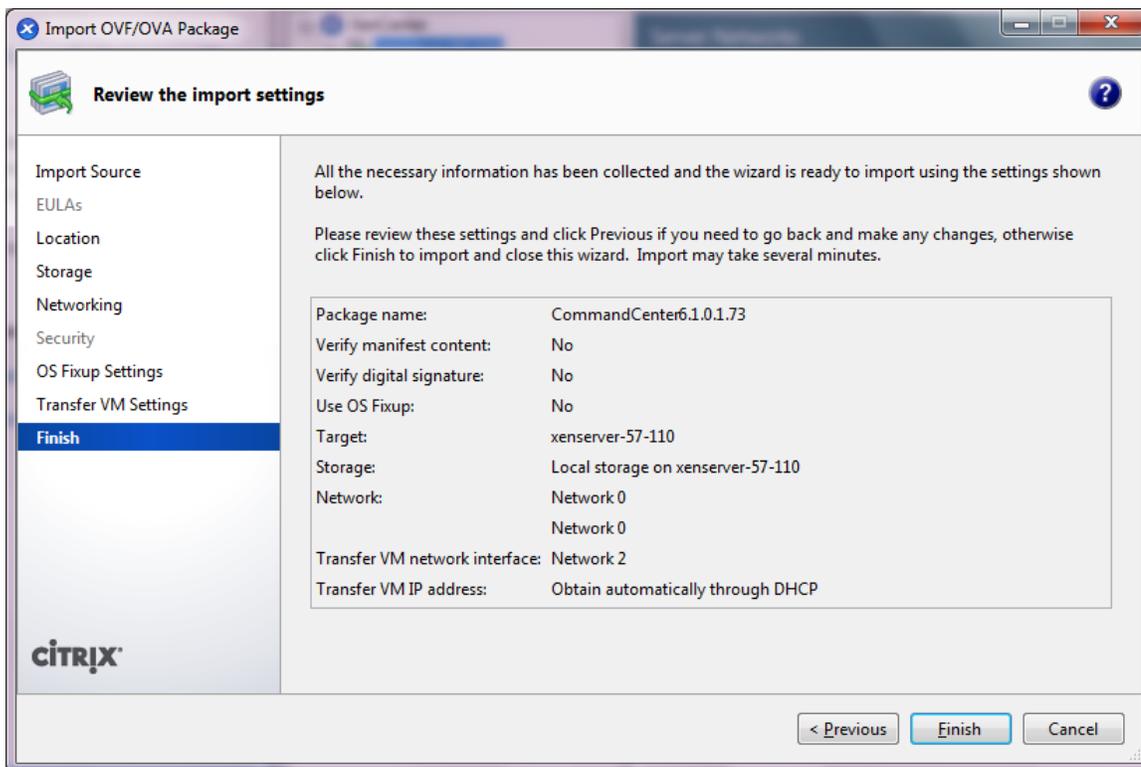
IP address: 192.168.57.115

Subnet mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.57.126

< Previous Next > Cancel

11. ネットワークを設定したら、[Next(次へ)]をクリックして確認します。[Finish(終了)]をクリックします。



12. CC-SG VM の作成にかかる時間は、20～25 分です。VM を開始し、コンソールを起動します。次に、**Log in to Diagnostic Console to Set CC-SG IP Address (診断コンソールにログインし CC-SG IP アドレスを設定する)** に移動します (ページ12)

Hyper-V に CC-SG を導入する

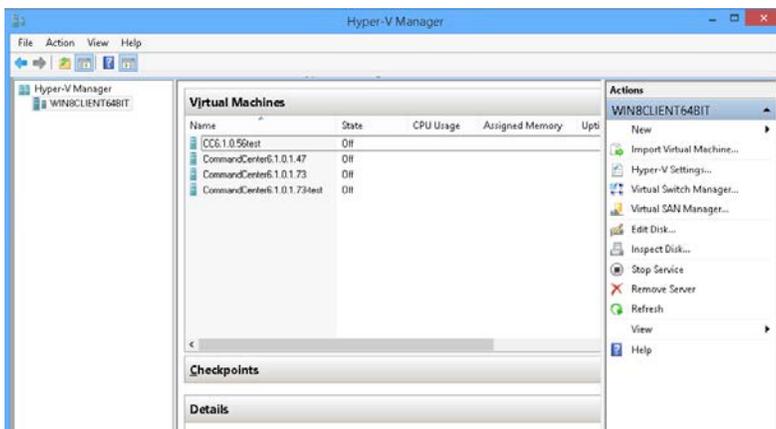
要件

- Hyper-V 機能は、Windows 8.0/8.1/2012 クライアントで有効であること。
- Hyper-V マネージャーにアクセスできること。

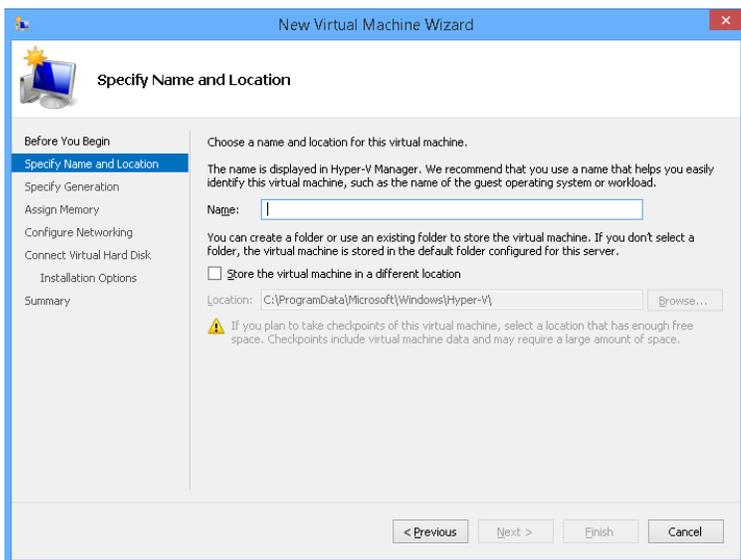
Hyper-V への CC-SG のインストール

1. CC-SG インストールファイルから VHDF ファイルを解凍します。

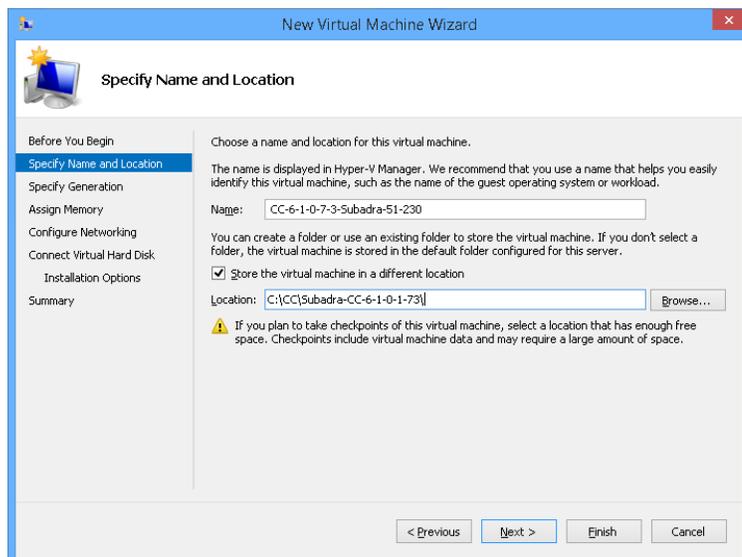
2. Hyper-V マネージャーを起動します。Windows 8.1 HyperV マネージャーを例に表示しています。



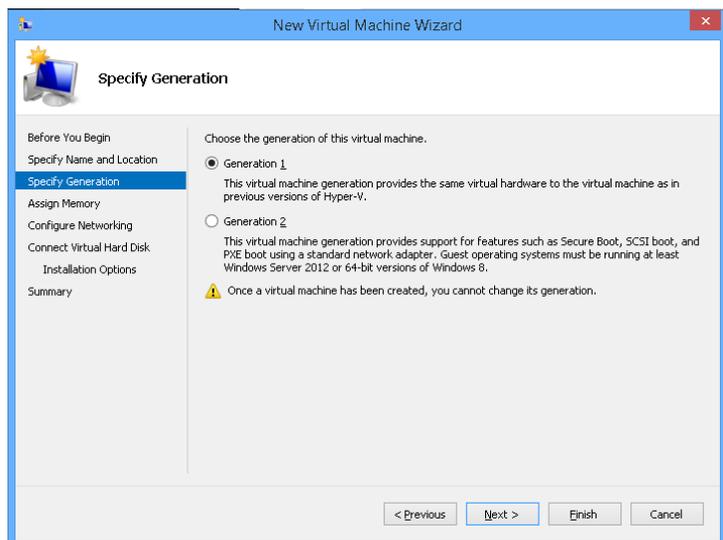
3. [Action (アクション)]リストで、[New (新規)] > [Virtual Machine (仮想マシン)]を選択して、仮想マシンウィザードを開きます。



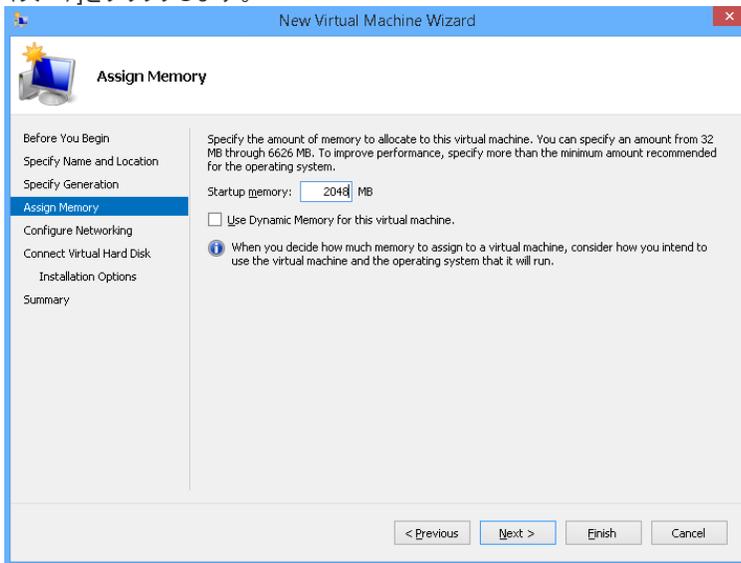
4. VM の名前を入力して、VM を保存する場所を選択します。[Next(次へ)]をクリックします。



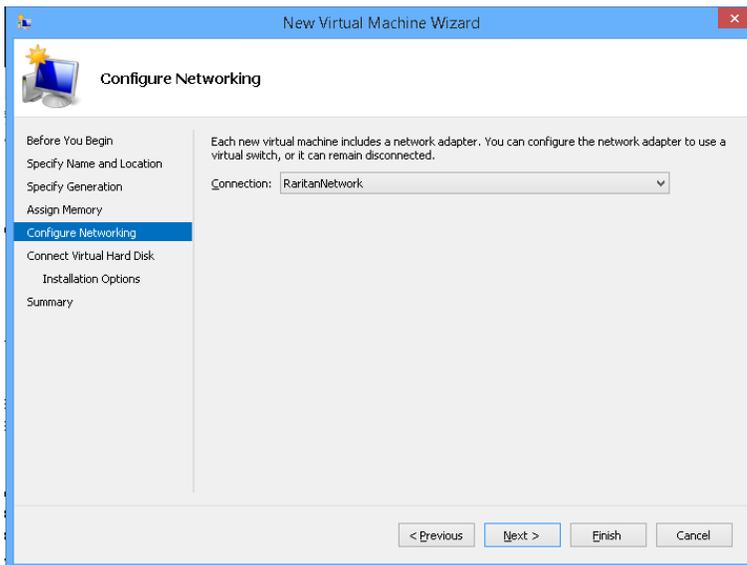
5. 「Specify Generation (世代の指定)」ページで、[Generation 1 (第 1 世代)]のみを選択します。CC-SG は[Generation 2 (第 2 世代)]をサポートしていません。[Next(次へ)]をクリックします。



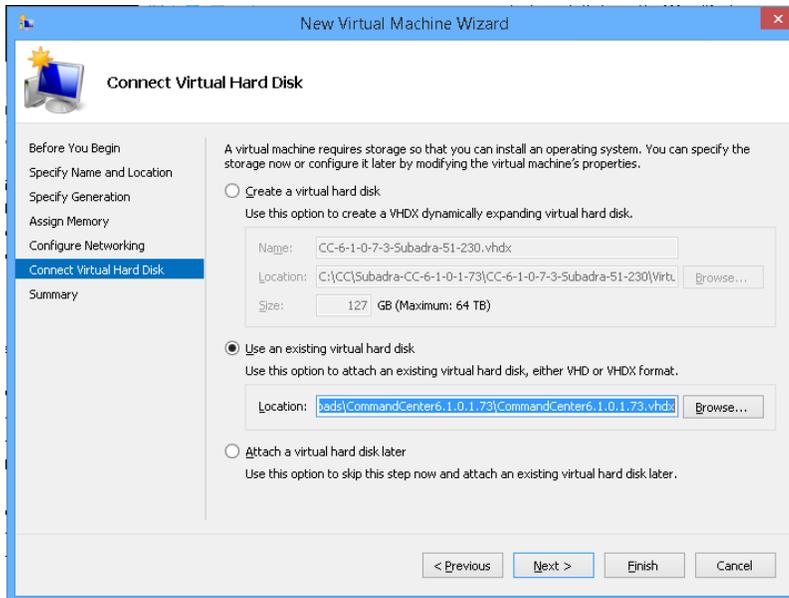
6. 「Assign Memory(メモリの割り当て)」ページで、デフォルト値の 512 MB を推奨メモリの 4GB に変更します。最小値は、2GB です。[Next(次へ)]をクリックします。



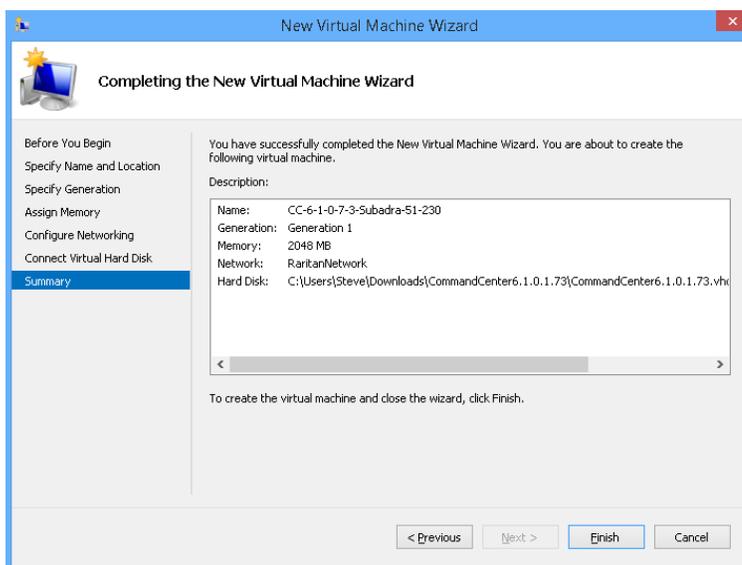
7. 「Configure Networking(ネットワークの構成)」ページで、使用するクライアント環境のネットワーク構成を選択します。[Next(次へ)]をクリックします。



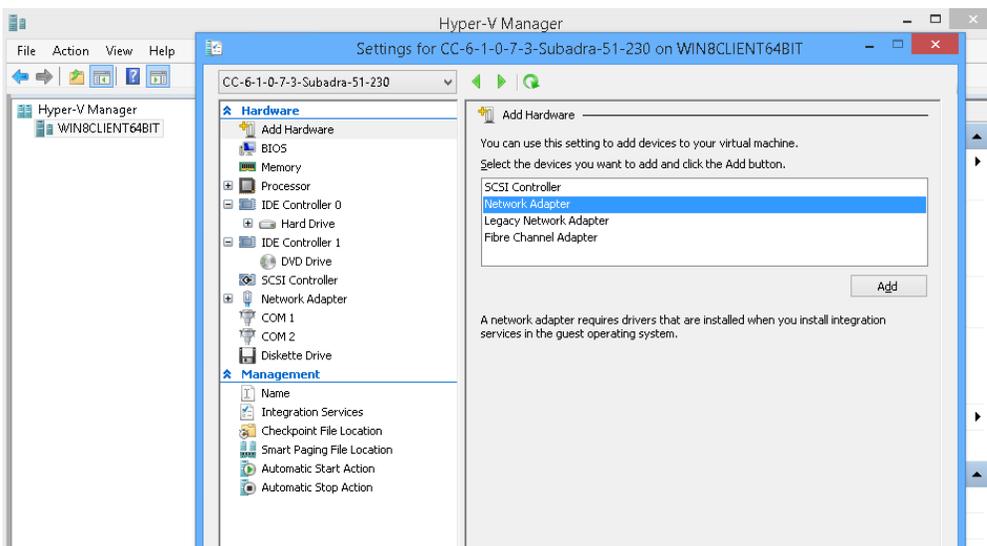
8. 「Connect Virtual Hard Disk (仮想ハードディスクの接続)」ページで[Use an existing virtual hard disk (既存の仮想ハードディスクを使用する)]を選択し、[Browse (参照)]をクリックして前に解凍した.VHDX ファイルを選択します。[Next (次へ)]をクリックします。



9. VM のサマリーが表示されます。[Finish (終了)]をクリックします。



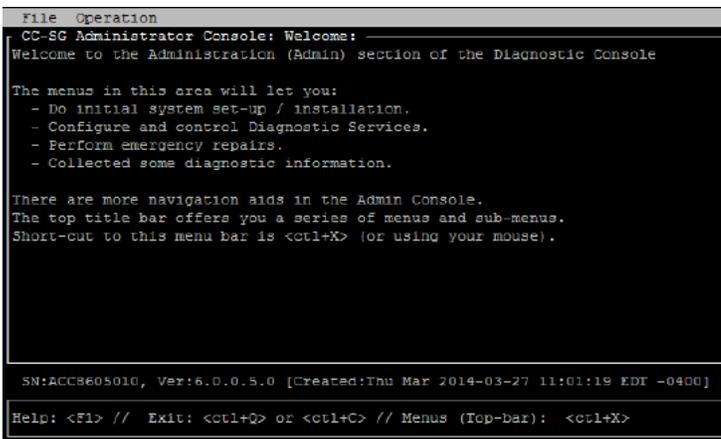
10. 新しく作成された VM を選択し、[Settings (設定)] をクリックして別のネットワークを追加します。



11. 新しい VM を開始し、コンソールを起動します。次に、**Log in to Diagnostic Console to Set CC-SG IP Address (診断コンソールにログインし CC-SG IP アドレスを設定する)** に移動します (ページ12)

診断コンソールにログインし、CC-SG IP アドレスを設定する

1. `admin/raritan` としてログインします。ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。
2. 続いてローカルコンソールのパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。
 - a. デフォルトのパスワード (`raritan`) を再度入力します。
 - b. 新しいパスワードを入力し、確認します。新しいパスワードは、文字と数字を組み合わせた 8 文字以上の強力なパスワードにする必要があります。
3. [Welcome (ようこそ)] 画面が表示されたら CTRL+X を押します。



4. [Operation (オペレーション)] > [Network Interfaces (ネットワークインタフェース)] > [Network Interface Config (ネットワークインタフェース設定)] を選択します。Administrator Console (管理者コンソール) が表示されます。
5. [Configuration (設定)] フィールドから、[DHCP] または [Static (静的)] を選択します。[Static (静的)] を選択した場合、静的 IP アドレスを入力します。必要に応じて、DNS サーバ、ネットマスク、ゲートウェイアドレスを指定します。
6. [Save (保存)] を選択します。CC-SG が再起動するまで数分間待ちます。

CC-SG のデフォルト設定

IP アドレス: 192.168.0.192

サブネットマスク: 255.255.255.0

ユーザ名/パスワード: admin/raritan

CC-SG にログインする

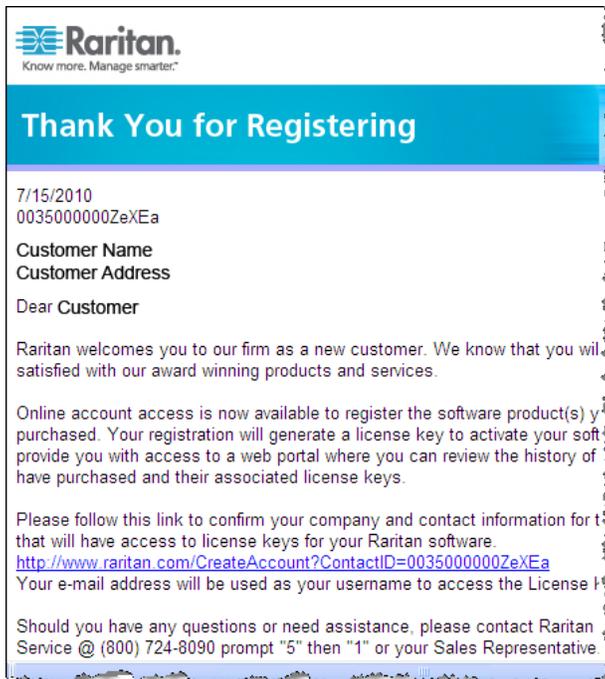
1. サポートされているブラウザを起動し、CC-SG の URL「<https://<IP アドレス>/admin>」と入力します。
たとえば、「<https://192.168.0.192/admin>」のように入力します。

注: ブラウザ接続のデフォルトの設定は、HTTPS/SSL 暗号化です。

2. セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、接続を許可します。
3. サポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。プロンプトの表示に従って、正しいバージョンをダウンロードするか、続行します。ログインウィンドウが表示されます。
4. デフォルトのユーザ名 (*admin*) とパスワード (*raritan*) を入力し、[Login (ログイン)] をクリックします。
CC-SG Admin Client が表示されます。

ライセンスを取得する

1. 購入時に指定されたライセンス管理者は、送信元電子メールアドレスが licensing@raritan.com で、件名が「Thank You for Registering (ご登録ありがとうございます)」という Raritan Licensing Portal (ラリタンライセンスポータル) からの電子メールを受信します。



2. 電子メール内のリンクをクリックして、ラリタンの Web サイトの「Software License Key Login (ソフトウェアライセンスキーログイン)」ページに移動します。ユーザアカウントおよびログインを作成します。ユーザ名は自分の電子メールアドレスです。ライセンスアカウント情報ページが開きます。間もなくライセンスファイルが使用可能になります。
3. 送信元電子メールアドレスが licensing@raritan.com で、件名が「Your Raritan CommandCenter SG Software License Keys Available (Raritan CommandCenter SG ソフトウェアライセンスキーが使用可能です)」という Raritan Licensing Portal (ラリタンライセンスポータル) からのもう 1 通の電子メールを確認してください。



Thank You for Registering

7/15/2010
0035000000ZeXEa

Customer Name
Customer Address

Dear Customer

This is an important email regarding your recent Raritan CommandCenter Sec purchase. Your Software License Key may now be generated. This License required to activate this Software Product.

You can access that license key(s), as well as review the history of Raritan's products that you have purchased with their associated license keys, at our website here - <http://www.raritan.com/licensing>.

- 電子メール内のリンクをクリックして、ラリタンの Web サイトの「Software License Key Login(ソフトウェアライセンスキーログイン)」ページに移動し、作成したユーザアカウントでログインします。
- [Product License(製品ライセンス)]タブをクリックします。購入したライセンスが一覧表示されます。ライセンスが 1 つしか表示されない場合や、複数表示される場合があります。
- 各ライセンスを取得するには、リスト内の項目の横にある[Create(作成)]をクリックします。CCSG128-VA の基本ライセンスと CCL-1024 のアドオンライセンスなど、ライセンスが複数ある場合は、先に基本ライセンスを作成します。

注:ライセンスサーバ設定から未処理設定に移行している場合は、再ホストライセンスを取得する必要があります。古いライセンスファイルは使用できません。必ず新しいライセンスを作成してダウンロードしてください。新しいライセンスが一覧に表示されない場合は、ラリタンのテクニカルサポートに連絡して再ホストライセンスを要求すれば、未処理設定で CC-SG を動作させることができます。

- [New Deployment - For Use Without License Server (Non Served)(新しく CC-SG を導入した場合 - ライセンスサーバなしで使用(未処理))]を選択します。
- CC-SG 仮想アプライアンスをインストールした仮想マシンのホスト ID を入力します。
 - 新規で導入する場合は、Admin Client で [Administration(管理)] > [License Management(ライセンス管理)] ページの上部の [CC-SG Host ID(CC-SG ホスト ID)] フィールドからホスト ID をコピーします。
 - ライセンスサーバ設定から移行しているユーザの場合は、Status Console からホスト ID をコピーします。SSH クライアントを起動し、CC-SG 仮想マシンの IP アドレスまたは IP ホスト名を指定します。ポートに 23 を指定します。デフォルトの SSH ポートは 22 です。ポートを 23 に変更しない場合、SSH クライアントは、Status Console ではなく CC-SG のコマンドラインインタフェースにアクセスします。クリックして接続します。ログインプロンプトに「status」と入力します。40 文字のホスト ID をコピーします。SSH クライアントでは、場合によっては、コンソールページ全体をコピーしてテキストドキュメントに貼り付け、そこからホスト ID をコピーする必要があります。新しいライセンスをインストールする場合は、Status Console を開いたままにして後でステータスを確認します。
 - サンプルホスト ID: 98A77180737E600FVP9FF1707ED0CE2154CF7FD6
- [Create License(ライセンスの作成)]をクリックします。入力した詳細情報がポップアップに表示されます。ホスト ID が正しいことを確認します。

警告:ホスト ID が正しいことを確認してください。不正なホスト ID で作成されたライセンスは有効ではないため、ラリタンのテクニカルサポートに修正を依頼する必要があります。

- [OK]をクリックします。ライセンスファイルが作成されます。
- [Download Now(今すぐダウンロード)]をクリックし、ライセンスファイルを保存します。

ライセンスをインストールしてチェックアウトする

- [Administration(管理)] > [License Management(ライセンス管理)]を選択します。
- [Add License(ライセンスの追加)]をクリックします。

3. ライセンス契約を読み、テキスト領域の下までスクロールして、[I Agree (同意する)]チェックボックスをオンにします。
4. [Browse (参照)]をクリックし、仮想アプライアンスの基本ライセンスファイルを選択します。ファイル名に「CCSG128VA」が含まれている必要があります。
5. [Open (開く)]をクリックします。
6. ライセンスに含まれている機能が一覧表示されます。引き続き他の機能に必要なライセンスファイルを追加します。
7. CCSG128-VA の基本ライセンスを選択し、[Check-Out (チェックアウト)]をクリックして有効にします。
8. アドオンライセンスを有効にするには、各ライセンスを選択し、[Check-Out (チェックアウト)]をクリックします。

その他の情報

CommandCenter Secure Gateway およびラリタンの製品ラインナップ全体の詳細については、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com) を参照してください。技術的な問題については、ラリタンのテクニカルサポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカルサポート窓口については、ラリタンの Web サイトの「Support (サポート)」セクションにある「Contact Support (サポートお問い合わせ先)」ページを参照してください。

ラリタンの製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープンソースコードのコピーを要求できます。詳細については、ラリタンの Web サイトにある「Open Source Software Statement (オープンソースソフトウェアについて)」 (<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。